



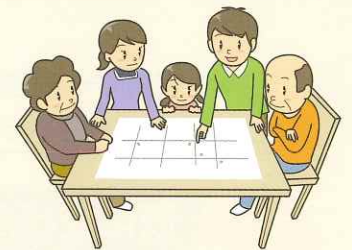
今こそ準備！ 災害対策

～いつか来るその日に向けて今できること～

昨今の災害では、被害の甚大さから指定避難所以外の場所で、避難せざるを得ない現状がありました。避難所の設営訓練を受けた関係者がすぐに対応できるとは限らず、訓練を受けていない市民が避難所の設営をすることが余儀なくされる場合も想定されます。さらに、近年COVID-19の蔓延状況によってはますます支援が遅れてしまうことが予測されます。発災時に安心して環境で過ごすためには、事前の準備が重要です。災害時の避難について考え、そして避難所設営の一助となることを願います。

1 事前に自宅周辺の危険な場所や避難所を確認しておきましょう

- 各市区町村が運営する、津波、倒壊危険度、土砂崩れ、浸水などが生じる可能性の高い地域を示した「ハザードマップ」で自宅周辺の危険区域を確認
※国土交通省が運営する、ハザードマップポータルサイトで確認できます (<https://disaportal.gsi.go.jp/>)
- 自宅近くの指定避難所を確認
- 家族と相談し指定避難所以外の安全な避難場所を検討
(在宅、車中泊、親戚や友人宅、テント泊など)



2 避難時に持ち出す物品を準備、またはリストを作成しておきましょう

※通常の避難物品に加え、感染対策用品ならびに長期避難の生活用品も検討しましょう

個々で準備出来るもの ※まずは3日程度を目安に準備をしましょう



<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/> 手洗い用石鹸	<input type="checkbox"/> 衣類
<input type="checkbox"/> 食料品 (保存食・調理しなくても食べられるもの)	<input type="checkbox"/> 使い捨て食器・割り箸 食用品ラップ	<input type="checkbox"/> ペーパータオル・ ティッシュペーパー	<input type="checkbox"/> 除菌シート (アルコール、 ウェットティッシュ等)
<input type="checkbox"/> 薬手帳・常用している薬・ 健康保険証	<input type="checkbox"/> 衛生材料 (紙おむつ、ナプキン類)	<input type="checkbox"/> 水 (大人1日3L以上)	<input type="checkbox"/> 携帯用充電器 ラジオ、乾電池
<input type="checkbox"/> ポリ袋 (ジッパー付き)	<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> 絆創膏・包帯・消毒薬	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ
<input type="checkbox"/> 上履き (スリッパ、靴下)	<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<input type="checkbox"/> 虫除け
<input type="checkbox"/> ライト (懐中電灯)	<input type="checkbox"/> 毛布 (寝袋)	<input type="checkbox"/> 剥がしやすい固定用テープ	<input type="checkbox"/> 新聞紙・ゴミ袋

3 避難所を設営する際のポイント (レイアウト・物品)

※設営の訓練を受けた関係者が対応できるとは限らないため、地域全体で取り組みましょう

レイアウト ※裏面にレイアウト例を掲載

- 災害前から専門家などの指導を受けるなどし、レイアウトを検討する
- 居住スペース (目安3.5㎡または2畳半程度) を確保する
- テントの用意があれば積極的に利用し、隣同士の密を防ぐ
- 感染者と感染が疑われる人の施設内の住み分けを考慮する (居住場所、トイレ、洗面所)
- 駐車場や広いグラウンドがある場合、テント泊や車中泊ができるスペースのレイアウトを考慮する
- あらかじめ指定避難所の運営方法について話し合い、災害発生前から準備しておく

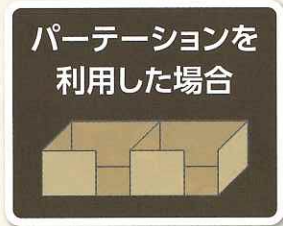
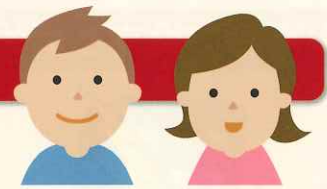


物品 ※ニーズに応じて

- 鍋・卓上コンロ、給水用タンク、テント、間仕切り、ビニールシート、ダンボールベッドなども準備しておくとい
- 感染対策として、使い捨て手袋・エプロン、フェイスシールド、アルコールジェルまたはハンドスプレー等を準備するとよい

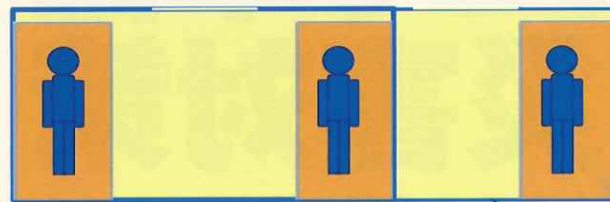


健康な方の避難所スペースのレイアウト(例)



パーティションを利用した場合

人との間隔は1~2mあける



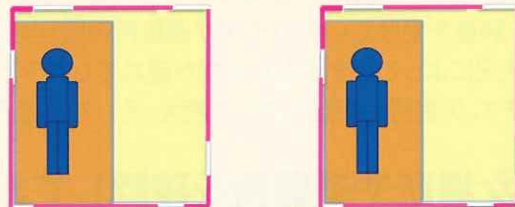
青：パーティション

茶：ダンボールベッド

感染予防やプライバシー保護の観点からパーティションは口元より高いものが望ましい



テープ等による区画表示



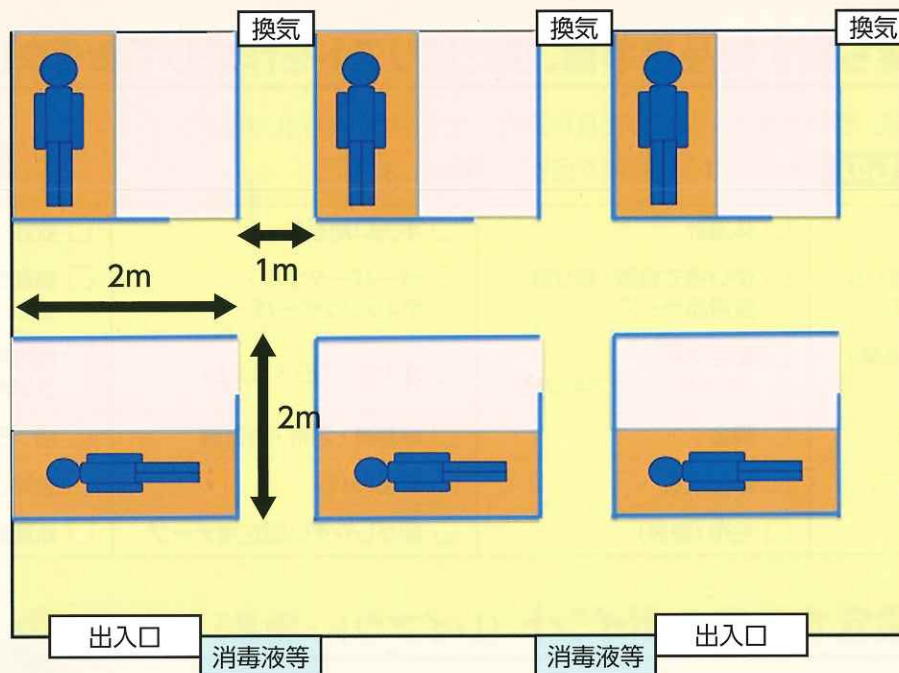
区画の間は1m以上あける

ピンク：テープ

- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
- テントを利用する場合は熱中症対策に注意が必要



既に症状が出ている方・感染が疑われる方の専用室のレイアウト(例)



扉は開放し換気を徹底



- 発熱・咳などのある方は可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する(やむを得ず同室にする場合はパーティションで区切るなどの工夫をする)
- 感染の人と関わった等で感染が疑われる方は、発熱・咳などのある方より優先して個室管理とする
- 避難所スタッフは個人用防護具を着用し、自身の健康管理にも留意する
- 各区画で出たゴミは個別で収集し、ポリ袋に入れて封をしてから破棄を行う
- 症状のある方のトイレは使用する度に消毒を行い、可能であれば一般の方と別にすることが望ましい

※災害時において種々の制約が想定されるため、可能な範囲で最大限実施する

災害が起こる前から自身の避難準備と地域全体に関連する施設の見直しをしましょう!